

発見！新しいアジア

○
会場
○

和光大学 ポプリホール鶴川
3F 多目的室
(小田急線鶴川駅 徒歩約3分)

 和光大学
<http://www.wako.ac.jp>



10月16日(木) 18:30～20:30
舞踊の宝庫ネパール～観世音菩薩の舞・ヒマラヤの盆踊り・熱帯ジャングル棒ダンスまで?!

・・・岡本 Malla 有子



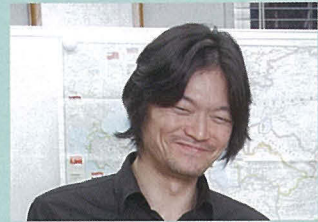
10月23日(木) 18:30～20:30
中国のふるさとを描く作家たち
—絵本・小説・映画・ノンフィクション

・・・加藤 三由紀



10月30日(木) 18:30～20:30
カザフスタンの文化～騎馬遊牧民の現在～

・・・坂井 弘紀



11月6日(木) 18:30～20:30
身近な動物との付き合い方
—スリランカにみるイヌ、カラス、スズメ

・・・澁谷 利雄



10月16日(木) 18:30~20:30
観世音菩薩の舞に、ヒマラヤの盆踊り
～熱帯ジャングルの棒ダンスまで?!

チベット高原との境、ヒマラヤ山脈のお膝元ネパールは、原始仏教とヒンドゥ教が共存し124民族に94もの言語、海拔60m～8848mの標高差が織りなす熱帯～寒冷帯の気候が伴って、実に多種多様な芸能文化の息づく地。30年ネパールへ通い続ける日本人で唯一の舞踊家である講師が、暮らしに根差した超レアなネパール舞踊文化をレクチャー。ステージ上、会場、みなさんの体験もアリ。

岡本 Malla 有子 おかもと まるら ゆうこ

現代人間学部非常勤講師。ネパール舞踏研究家。現地にて多種多様なネパール伝統芸能文化をオールマイティに30年かけてリサーチ・研究、保全活動を行っている。1997年故ビレンドラ国王より表彰。ネパール国立女子大舞踊科・音楽科修了。



10月30日(木) 18:30~20:30
カザフスタンの文化 ～騎馬遊牧民の現在～

草原が広がるカザフスタン共和国。この地には、騎馬遊牧民のカザフ人が遊牧生活を営んできました。カザフの人々は、テングリ(上天神)を信仰しながら、自然とうまく共生する合理的なエコロジストでした。その生活は、日本のものとは大きく異なると思われていますが、実は、日本の文化となじみの深いものもあります。彼らの伝統的な衣食住を中心とした遊牧文化を概観するとともに、急激な経済発展を続けるカザフスタンに生き続ける騎馬遊牧文化の現在について取り上げます。

坂井 弘紀 さかい ひろき

表現学部教授。専門は中央ユーラシア叙事詩研究。中央アジア文化史。テュルク(トルコ)系諸民族の、英雄叙事詩をはじめとする伝承を主に扱いつつ、中央ユーラシアの精神文化とその歴史について研究している。アジアとヨーロッパにまたがるこの地域の文化のあり方に関心をもつ。

10月23日(木) 18:30~20:30
中国のふるさとを描く作家たち
—絵本・小説・映画・ノンフィクション—

無性にふるさとが懐かしくなることはありませんか?郷愁は、現代社会に生きる多くの人々が共有する思いでしょう。20世紀末から中は大きな社会変動をおこしています。かつて中国では人口の8割が農村に居住していましたが、今では出稼ぎで農村は過疎化にあえいでいます。そんな今だからこそ、ふるさとを後にした中国の作家たちは、熱い思いをふるさとに寄せています。絵本作家の曹文軒、ノーベル文学賞の莫言など、中国で今活躍している作家たちがふるさとに託した希望を読み解いていきましょう。

加藤 三由紀 かとう みゆき

表現学部教授。専門は中国現代文学。20世紀から今日まで、中国の基層である農村や農民がいかに文学に描かれてきたかを研究している。中国当代(=同時代)文学研究会を主宰し、中国の研究者と交流を重ねている。

11月6日(木) 18:30~20:30
身近な動物との付き合い方
—スリランカにみるイヌ、カラス、スズメ—

スリランカを訪ねると、動物との近しさを実感する。イヌの多くは放し飼いだし、窓を開けているとカラスや、スズメ、リスが入ってくる。街中でもオオトカゲは珍しくない。どうも人間と動物との関係が日本とは違うようである。スリランカの仏教徒にとってイヌとカラスは、最もあさましいみじめな存在である。だからこそ、来世ではせめてイヌやカラスには生まれることのないよう、施しを与えて功德を積むのである。人間は輪廻の宇宙のなかの連鎖により、イヌやカラスとつながっているのである。

澁谷 利雄 しづや としお

現代人間学部教授。専門は文化人類学、南アジア現代史を専攻。スリランカの祭り、民族紛争、大衆文化、民衆宗教、食文化など。1995年から、スリランカに関する情報を持ち寄り分かち合う場としてスリランカ研究フォーラムを主催している。スリランカ野鳥観察会会員。

会場

和光大学ポプリホール鶴川 3F 多目的室
(小田急線 鶴川駅 徒歩約3分)

受講料
定員

各回 500円(※学生無料)
各回 60名(※先着順)

申込
方法

ハガキ、FAX、Eメールで『連続市民講座「発見!新しいアジア」』と明記し、以下の必要事項を書いてお送りください。なお、**各回の開催日1週間前まで**にお申し込みください。※お電話でのお申込みはご遠慮ください。

①氏名(フリガナ) ②郵便番号・住所 ③電話番号 ④参加する回数(第〇回、全4回など)

申込先

和光大学 企画広報係 大学開放センター

〒195-8585
東京都町田市金井町2160
FAX : 044-988-1594
E-mail : open@wako.ac.jp

